


日塗工 整理No.	2016-01	労働災害状況調査表	
発生会社 事業所			
災害発生場所	場所 充填場		
災害発生日時	2015年 7月 22日(水) 9時 00分 天候(雨のち一時曇) 温度(25.2℃)湿度(90%)		
災害区分	不 休 災害		休業災害(休業:△日)
被 災 者	部門	第3製造課	
	年齢	37歳	性別: <u>男</u> 女
	傷病名	病名 (胸部及び、両上下肢化学熱傷Ⅱ度)	
	傷病部位	胸、両腕、両脚	
災 害 発 生 状 況	<p>タンクから1tコンテナへ充填中、再結晶化した化学品で金網ストレーナーが詰まり、ハウジングと蓋の隙間から製品が噴出し、ストレーナー付近の脚立に乗り二段濾過の金網を監視中に被液した。 その拍子に脚立から転倒した。(転倒の際の怪我はなし) 直ちに近くにあったシャワーを浴び、風呂に入り、作業着を変え勤務に戻った。 翌日、被液した部分が赤く腫れ上がって一部水疱ができていたので病院に行き診察を受けた。 胸部及び、両上下肢化学熱傷Ⅱ度であった。</p>		<p>状況概略(写真orイラスト)</p> 
	災害の型 ^{※1)}	9	作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()
	起因物:	再結晶化した製剤	
原 因 分 類	<p>1.人的要因(man) 脚立上での作業。 2.物に関する要因(machine) ・再結晶化しやすい製剤。・充填配管のバイパス回路が”閉”であった。 3.環境要因(media) 製造工程の中で3連休の時の処置が不明確であった。(金曜:仕込み、土日:攪拌、月~金:分散、土日:静置、月曜:濾過・充填の段取りだったが、次の月曜が休日だった。) 4.管理的要因(management) 安全作業に対する管理ができていなかった。</p>		
対 策	<p>・再結晶化対策として配合の見直しを行う。設計部門に配合の見直しを依頼した。 ・脚立を使用した作業の禁止。手すり付きの踏み台を設置した。 ・KYTの実施、職場会で安全に関する討議を実施する。 ・充填ラインの見直し。(圧力計、バイパス等、充填料ポンプのスイッチの位置) ・作業の開始曜日を、週半ばからとして、充填まで時間を置かないようにする。</p>		
	対策分類 ^{※2)} : 1-3、1-6、2-4、2-6		
備 考	類似箇所の摘出:		

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)